

登 山

専門委員長 山 田 修



1. 県高校総体

県高校総体は、見ノ越駐車場～剣山～次郎笈～丸石～祖谷のかずら橋～旧名頃小学校のコースを採用し、6月1日から6月3日までの3日間の日程で行われました。今年丸石からの下りルートを、今までの谷沿いではなく、尾根沿いに変更しました。男子8校、女子3校の参加で、四国大会及びインターハイの出場権を懸けて開始されました。

1日目はつるぎ高校に集合し、諸会議と開会式の後、テント設営、知識、天気図、炊事などについての審査を実施しました。天候にも恵まれ、予定通りの日程を消化することができ、翌日に備え21時に就寝しました。

2日目は4時に起床し、バスで見ノ越駐車場へ移動後、登山行動が開始されました。剣山山頂までは何とか曇りですみましたが、山頂からの行動は雨天となり雨具を装着しての行動となりました。体も冷え、足下も重くなる中、全選手がゴールである旧名頃小学校まで怪我なく下山できました。ロングコースを歩き終え選手・監督とも安堵の表情を浮かべていました。テント泊はあきらめ、体育館にて夕食をとり、交流会を楽しく過ごし、リーダー会議後、明日の行動に備え就寝しました。

最終日はラ・フォーレつるぎ山までバスで移動し、塔丸までの往復行動でした。

大会がすべて終了し、つるぎ高校までバスで移動の後、閉会式、表彰式が行われました。結果は男子はつるぎ高校が26年ぶり6回目の優勝、女子は池田高校が11年ぶり15回目の優勝でした。四国大会には男子がつるぎ・城ノ内・池田、女子が池田・城ノ内の計5パーティーが出場となりました。

2. 四国高校選手権

6月14日から16日まで、第61回四国高等学校登山選手権大会が高知県で開催されました。

1日目は高知工業高校に集合し、諸会議と開会式、知識審査を実施し、旧大豊小学校にバス移動しました。到着後、設営、炊事、装備の各審査がありました。小雨が降りながらも予定した内容は全て滞りなく終了しましたが、夜は大雨が予想されたので大事をとって選手と役員は全て校舎内および体育館で就寝することにしました。

2日目は5時に起床、7時に行動開始しました。コースは高知県でも厳しい山の1つに数えられる梶ヶ森の豊永コースです。朝方は一瞬晴れ間も見える時もありましたが、次第に雨が強まり龍王ノ滝駐車場に着くころには豪雨となりました。ここで大会に同行してくれている気象予報士の方から、この後の天候は回復傾向にあるがしばらく雷が気になるという情報を受け、シャクナゲの森までは歩いて、そこで改めて考えることとしました。しかし、天候不良にともなう疲労から行動離脱するチームが出て、シャクナゲの森に本隊が到着したところには、選手や役員の疲労度も高くなっていました。その時、雨音を切り裂くように雷鳴が鳴り響いたため、梶ヶ森登頂を断念して山荘梶ヶ森へ直行することとなりました。午後13時にはバスで山荘梶ヶ森を出発し、16時には全員宿舎に入ることができました。こうして荒れた天候の2日目は、何とか無事終了することができました。

大会3日目は天候も回復し、鉱山跡の遺構を活用したルートから野地峰への登頂を果たすことができました。

結果は、男子は丸亀高校が、女子は池田高校が見事優勝を果たしました。徳島県勢は、男子池田が6位、つるぎが7位、城ノ内が8位で、女子池田が優勝、城ノ内が4位でした。

3. インターハイ

インターハイは8月2日から8月6日まで宮崎県高千穂町の祖母山系で開催されました。親父山(1644.2m)、古祖母山(1633.1m)、障子岳(1709m)、筒が岳(1292.9

m)、祖母山(1756.4m)が大会コースになりました。宮崎県の美しく豊かな自然を堪能できた一方で、ロングコースの上、岩場などの狭く厳しいコース設定だったので、行動時間が非常に長くなり、体力的にはもちろん、精神的に厳しいものがありました。また、台風が急接近してきたこともあり、行動3日目はコースを短縮した運営となりました。そのため百名山に含まれる祖母山登頂は叶わなくなりましたが、最後まで大きなトラブルもなく大会を終えました。

成績はA隊(男子)つるぎ高校が28位となり、前年度城ノ内高校の8位より順位を大きく下げてしまいました。B隊(女子)池田高校は20位と前年度の21位よりひとつ順位をあげました。男女とも全47チームの半ばほどの成績でしたが、今回の反省を生かして、来年度は上位に食い込めるよう徳島県がOne Teamとなって向上していきたいと思います。

4. 県高校選手権

夏も終わり3年生が引退し、新メンバーで臨む登山選手権大会が、板野高校を幕営地として9月28日より2日間行われました。

この大会は、高校登山競技の基本を学ぶための研修も兼ねている大会です。1日目に、まずテント設営の講習をする予定でしたが、雨が心配されたので取りやめました。屋内にて天気図の研修・審査と自然観察、気象知識、救急知識などの研修・ペーパーテストが行われました。2日目は、朝から藍染山、高尾山山城での山行で、読図、装備、行動記録、マナーの審査を行いました。

結果は男子はつるぎ高校が2年連続5回目の優勝、女子は池田高校が2年連続8回目の優勝となりました。

5. 県高校新人登山

新人大会は11月16日より2日間、阿南光高校を幕営地として行われました。今回より天気図審査に気象予報士の資格をもった長谷川さんが大会運営に関わってくれました。未永いおつきあいを期待しています。コースは、

3年前に利用した鍛冶ヶ峰、津乃峰山コースでした。前年度の新人大会に引き続き、制限時間は厳しく設定しましたが、多くのチームがクリアしました。各学校が厳しい制限時間に対策を施してきたのでしょう。結果は男子はつるぎ高校が2年連続4回目の優勝、女子は城ノ内高校が2年ぶり19回目の優勝となりました。

今年度も、校務でお忙しい中、大会運営に携わり参加してくださいました各校の顧問の先生方、御協力ありがとうございました。各校とも部員獲得で苦労されている中、多くの選手に恵まれ、活気のある大会を開催することができました。

最後になりましたが、会場として施設を使わせていただいた三好市、つるぎ高校、板野高校、阿南光高校にお礼申し上げます。



炊事の様子 つるぎ高校男子(県高校総体)



剣山山頂 城西高校男子(県高校総体)

◎県高校総体 令1. 6. 1～3

於 三好市・つるぎ町・美馬市
 剣山・次郎笈・丸石コース

<男子団体>

1位 つるぎ	99.1点	1位 池田	99.2点
2位 城ノ内	98.8点	2位 城ノ内	99.1点
3位 池田	97.9点	3位 徳島市立	89.5点

<女子団体>

◎四国高校選手権 令1. 6. 14～16

於 大豊町・大川村
 梶ヶ森・野地峰コース

<男子団体>

6位 池田	95.4点	1位 池田	97.1点
7位 つるぎ	92.5点	4位 城ノ内	95.1点
8位 城ノ内	89.5点		

<女子団体>

◎インターハイ 令1. 8. 2～6

於 宮崎県高千穂町祖母山系 祖母山一帯

男子団体 (A隊) つるぎ 93.7点 28位

安友晴哉・橘晃平・川原優希・松井颯真

女子団体 (B隊) 池田 93.2点 20位

北原千聖・松浦来実・藤村真葵・下川裕子

◎県高校選手権 令1. 9. 28・29

於 板野郡上板町 藍染山・高尾山山城

<男子団体>

1位 つるぎ	1位 池田
2位 城ノ内	2位 城ノ内
3位 池田	3位 徳島市立

<女子団体>

<男子個人>

- 1位 戸花 裕貴(つるぎ)
- 2位 野口 雄平(城内)
- 3位 黒川 眞(つるぎ)
- 4位 印藤 優作(脇町)
- 5位 奥村 大翔(つるぎ)

<女子個人>

- 1位 西本 惟莉(池田)
- 2位 高橋李々花(池田)
- 2位 藤本 知里(池田)
- 4位 林 美哉子(城内)
- 4位 椎野 向帆(城内)

◎県高校新人大会 令1. 11. 16・17

於 阿南市 鍛冶ヶ峰・津乃峰山

<男子団体>

1位 つるぎ	97.5点	1位 城ノ内	97.3点
2位 城ノ内	97.4点	2位 池田	97.2点
3位 脇町	93.9点	3位 徳島市立	52.5点

<女子団体>



高尾山 女子 (県高校登山選手権)



鍛冶ヶ峰山頂 城ノ内高校男子 (県高校新人登山)